

今程は、3名の意見発表がありました。それぞれ3学期の抱負を堂々と述べていて、大変立派でした。さて、3学期がスタートしました。この学期の授業日数は、1月は15日、2月が19日、3月が、1、2年生は17日、3年生は11日で、合計すると、1、2年生は51日、3年生が45日となり、2学期よりも30日以上短い学期となります。

1年生の皆さん。今月27日に入学説明会があり、小学6年生の皆さんに、授業を参観してもらい機会があります。先輩としての自覚と態度を一層伸ばしましょう。2年生のみなさん。3年生となるための地盤を固める頃となります。勉強や進路学習に力を入れるとともに、卒業生を送る予餞会の企画及び運営を生徒会活動の中心となって進めましょう。そして、3年生。冬休みの充実度はいかがでしたか。学習に励み、進む道を決め、卒業の日を迎えることとなります。しかし、お世話になっている後輩や母校に、より良き伝統を残していこうとする気持ちは是非見失わないで欲しいと思います。

さて4月以来、私は度々、道德のことに関する話を行って来ましたが、まとめの学期を迎えるにあたり、今一度「徳」に触れる話をしたいと思います。徳とは、人としてより良く生きるための道しるべとなる、大事なものと言えます。日常生活を送っていると、さまざまな場面で判断や決断をすることが生じて来ます。人生とは、判断や決断の連続です。

友達が困っているとき、家族が悩んでいるとき、自分自身が勇気をだすとき、そして、「はい」か「いいえ」かを求められたときなど、相手の気持ちや幸せを意識しながら言動を起こさなくてははいけません。例えば、ウィズコロナ時代の初詣の心得として、人の多い場所での大声の厳禁や、外出前の検温などがありますが、外国人観光客が特に驚くこととして、日本人のマスク着用率の高さがあるそうです。これには、日本人の衛生観念や他者への配慮を大切にする国民性と、協調性の高さが理由だと言われています。

思いやり、自主自律、社会正義、礼儀、創造など、22ある道徳的価値に照らしながら判断して行く。ことの良し悪しは、自分の心の中にある道徳性に委ねられているのです。モラル上間違っている行いを友達が起こしそうになったら、勇気を出して指摘してあげることができるか。また、誤っている状況に際しても飲み込まれることのないように、正しい道へと己をしっかりと導けるのか。井波中学校では、人として大切にしていかななくてはならないものを見失って欲しくない信念から、道德の時間やさまざまな教育活動において、道徳性を高めて行くことを目指しているのです。もちろん、各教科の専門性を養うことは言うまでもありません。しかし、身に付けた専門の力を社会で十分発揮し認められるためには、道徳性の備わっている人間的魅力が鍵となります。3学期も、地道に徳を積み、自らの心磨きに努めて欲しいと思います。そして、この延長線上に、全国でも有数のモラル

に優れた学校と肩を並べ、地域の誇り高き学校になりうると信じるものです。

結びに、学校生活では楽しいこともあれば、嫌なこと・つらいことも起こり得ます。こうした困難や試練を乗り越えるには適切なる助言や知恵が必要ですが、この際に頼りとなる存在として、先生を始めとする井波中学校で働いている方々がおおり、皆さんを精一杯支援したり応援したりして行きます。周りの人々を敬い、生かされていることに感謝する心を大切にもち続けましょう。

今学期が、一年間のまとめ、そして三年生にとっては義務教育の最終にふさわしい学期となることを願って、式辞とします。